ムーバ N253i データリンクソフト

取扱説明書

- ご使用の前に必ず、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 「データリンクケーブルN001、N002」（以下、「データリンクケーブル」と記述）のパソコン側の接続部は、D-SUB9ピン（メス）です。シリアル端子がD-SUB9ピン（オス）以外のパソコンをお使いの方は、市販の変換コネクタをご使用ください。
- 本製品は、ムーバ N253iとパソコンとをデータリンクケーブルまたは「USBデータリンクケーブルF001」（以下、「USBケーブル」と記述）で接続してご利用いただけます。なお、本取扱説明書では、ムーバ N253iを「ムーバ」と記載しています。

・Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
・その他、記載している会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

●お問合せ先

・ムーバについて〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※ 一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

・データリンクソフトについて
NEC（モバイルターミナル営業本部）
0120－102－001
受付時間：平日午前 9:00～12:00　午後 1:00～5:00
（土・日・祝日・NEC所定の休日を除く）

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を、無断で他に転載することは禁止されています。ソフトウェアについても内容の一部または全部を無断で複写することは、ソフトウェアをバックアップする場合を除き禁止されています。
（2）本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容は万全を期して作成しております。万一、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）運用した結果の影響については、(3)項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

輸出する際の注意事項

本ソフトウェアは、日本国内仕様であり、外国の規格などには準拠しておりません。本ソフトウェアを日本国外で使用された場合、当社は責任を負いかねます。また、当社は本ソフトウェアに関して海外での保守サービスおよび技術的サポート等は行なっておりません。

’04.10（1版）

データリンクソフトの特長

データリンクソフトでは、次のデータを扱うことができます。

●電話帳
ムーバの電話帳データを編集することができます。
●テキストメモ
ムーバのテキストメモデータを編集することができます。
●メール
送信／受信メールデータをムーバから読み込むことおよびムーバへ書き込むことができます。
また、メールを新規作成してムーバへ転送することができます。
●定型文
ムーバの定型文データを編集することができます。
●ブックマーク
ムーバのブックマークデータを編集することができます。
●マイピクチャ
オリジナルアルバムに登録されている画像、およびムーバで撮影した画像をパソコンに転送し、
保存することができます。
※ムーバでダウンロードした画像は、扱うことができません。
●マイサウンド
データリンクソフトで作成したオリジナル着信音をムーバへ書き込むことができます。
※著作権のあるオリジナル着信音は、扱うことができません。
●スケジュール／ToDoリスト
ムーバのスケジュール／ToDoリスト／休日／記念日／ピクチャダイアリーを編集することが
できます。

必要な動作環境

データリンクソフトは、次のハードウェアおよびソフトウェアで動作します。

項目	説明
パソコン本体	PC／AT互換機で、シリアルポートまたはUSBポートが使用できる機種
OS	日本語版Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000 またはWindows® XP （以降、これらのOSをWindowsと表記します）
必要メモリ	日本語版Windows® 98、Windows® 98SE、 Windows® Me、Windows® 2000　:64MB以上※ 日本語版Windows® XP　:128MB以上※
HDD容量	空き容量20MB以上※
その他	オリジナル着信音を再生するには、MIDI再生機能が必要

※必要メモリおよびハードディスクの空き容量は、システム環境によって異なることがあります。

重要
●シリアルポートまたはUSBポートを利用できる状態にしておいてください。設定方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
●USBポートをご利用の場合は、USBケーブルの取扱説明書をご覧ください。

インストール

本製品のインストールファイルをホームページからダウンロードしてください。ダウンロードしたファイルの保存先（ドライブ名およびフォルダ名）は、それぞれ書き留めておくことをおすすめします。

重要

- ●インストールプログラムを起動する前に、スクリーンセーバーや起動しているアプリケーションをすべて終了してください。システムファイルや共有ファイルが使用中となっていると、正常にインストールできない場合があります。
- ●Windows® 2000またはWindows® XPのパソコンにインストールする場合は、必ずパソコンの管理者権限（「Administrator権限」または「コンピュータの管理者権限」）を持ったユーザーアカウントで行ってください。これ以外のユーザとしてログオンすると、インストールを行うことができません。

インストール操作

ここでは、Windows® XPを例にインストール方法を説明します。

1 Windowsを起動する

2 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する
【コントロールパネル】画面が表示されます。

3 「プログラムの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
【プログラムの追加と削除】画面が表示されます。

4 ＜プログラムの追加＞ボタン－＜CDまたはフロッピー＞ボタンを押す
【フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール】画面が表示されます。

5 ＜次へ＞ボタンを押す
【インストールプログラムの実行】画面が表示されます。

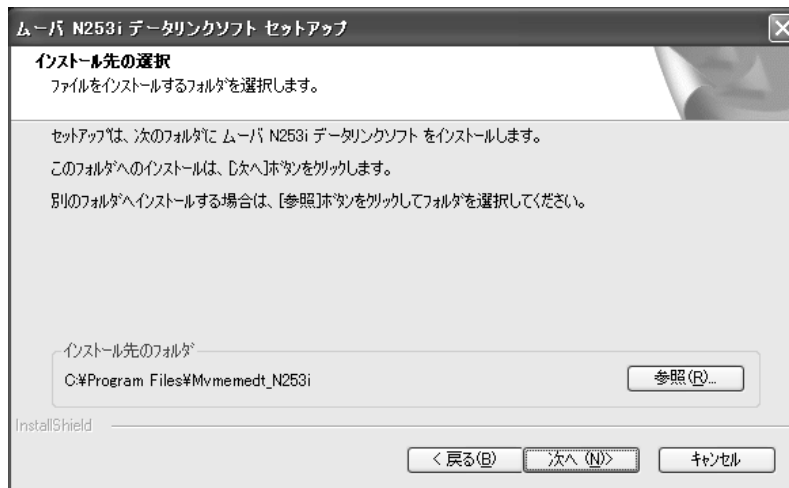
6 ＜参照＞ボタンを押して、「ファイルの種類」で「プログラム」を選択し、保存先のドライブおよびフォルダ内の“N253i_DTLK.EXE”を指定し、＜完了＞ボタンを押す

データリンクソフトのインストールプログラムが起動します。

7 ＜次へ＞ボタンを押す
【ムーバ N253i データリンクソフト セットアップ】画面が表示されます。

次頁へ続く

8 画面の説明に従ってインストールする

【インストール先の選択】画面で、表示されているインストール先のフォルダを変更する場合は、＜参照＞ボタンを押し、インストール先のドライブ、フォルダを指定します。

インストールが完了すると、[スタート]メニューの[すべてのプログラム]に[ムーバ N253i データリンクソフト]が追加されます。

● インストール先のフォルダは、最上位フォルダ（C:¥、D:¥等）以外を指定してください。

● 本ソフトを使わなくなった場合は、【プログラムの変更と削除】ボタンを押して「ムーバ N253i データリンクソフト」の削除を指定し、アンインストールしてください。

ムーバとパソコンとの接続

データリンクケーブルまたはUSBケーブルを利用し、ムーバとパソコンとを接続します。

各ケーブルとムーバおよびパソコンとの接続については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

- ● データリンクケーブルは、ムーバとパソコンのシリアルポートを接続するための専用ケーブルです（ムーバとパソコンとの接続以外にはご使用にならないでください）。
- ● データリンクケーブルは、D-SUB9ピン（オス）シリアルポートを持つパソコンと接続します。D-SUB9ピンのコネクタ以外を持つパソコン（ノートパソコンなど専用コネクタを使用している場合）と接続するには、市販の変換コネクタを接続してご利用ください。
- ● USBケーブルは、ムーバとパソコンのUSBポートを接続するための専用ケーブルです（ムーバとパソコンの接続以外にはご使用にならないでください）。
- ● コネクタは、無理に差し込まないでください。各コネクタは、正しい向きおよび正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- ● 本ソフトのご利用にあたっては、必ず専用の接続ケーブル（データリンクケーブルまたはUSBケーブル）をご使用ください。本ソフトによって規定された以外の使い方をした場合の動作は保証致しません。
- ● ムーバとパソコンを接続したままパソコンの電源を切り、放置しておくと、ムーバの電池を消耗します。ムーバとパソコン間のデータ転送が終了したら、必ずムーバからデータリンクケーブルまたはUSBケーブルを外してください。

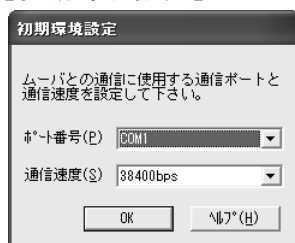
データリンクソフトの起動と終了

ここでは、データリンクソフトの起動と終了について説明します。

起動操作

1 [スタート]－[すべてのプログラム]から[ムーバ N253i データリンクソフト]を選択する

データリンクソフトが起動し、【初期環境設定】画面が表示されます。

2 [初期環境設定]画面でポート番号、通信速度を設定する

通信速度

通常は 38400bps を選択してください。115200bps を選択した場合、転送時間は短くなりますが、エラーが発生することがあります。

3 <OK>ボタンを押す

【電話帳】画面が表示されます。

補足	● 起動時に表示する画面は、【環境設定】画面で変更できます。

終了操作

1 [ファイル]－[アプリケーションの終了]を選択する

データリンクソフトが終了します。